



北海道食文化研究会

「北海道大学植物園講座」開催の追加案内

札幌市の中心部にこんな憩いの空間があるなんて!!

皆さんご存じの北海道大学植物園を、藤野介延先生（植物園長）・東隆行先生にご案内いただきます。北海道ならではの樹木、食べることができる植物（山菜等）、食べてはいけない有毒植物、棘やかぶれに注意が必要な植物、野山の草花、今も北海道開拓前の自然林が保存されているエリアなど、くまなく散策します。

見どころ満載。知っておきたい北海道の自然と歴史を学ぶ企画です。

開催日：2025年7月10日（木曜日）

9時30分 植物園入り口前に集合

植物園内ツアーの後、11時30分頃

昼食飲み物をお渡ししますので、植物園内でご自由にお召し上がりください

ゴミ等は植物園に残さず、お持ち帰りください

自由解散



参加費：1000円（植物園入園料、昼食（中華弁当）、飲み物等を含む）

雨天： 少雨決行（雨具を各自ご用意ください）

荒天大雨が予想される場合は中止（前日にメールか電話で連絡します）

申込方法：下記 URL または上記 QR コードよりお申込みください

<https://forms.gle/PTp3YGecFaqaA2MH9> 申込み〆切：6月23日

定員： 追加募集 10名様

先の募集で定員30名となりましたが応募者多数のため10名を追加募集いたします



北海道大学植物園の歴史は北海道大学の前身である札幌農学校の W.S. クラーク初代教頭が開拓使に対し「植物学および園芸学の教育のためには植物園が必要である」と提言したことにより始まります。札幌農学校卒業生の植物学者宮部金吾が計画・立案し、1886年に開園し今年で139年になります。